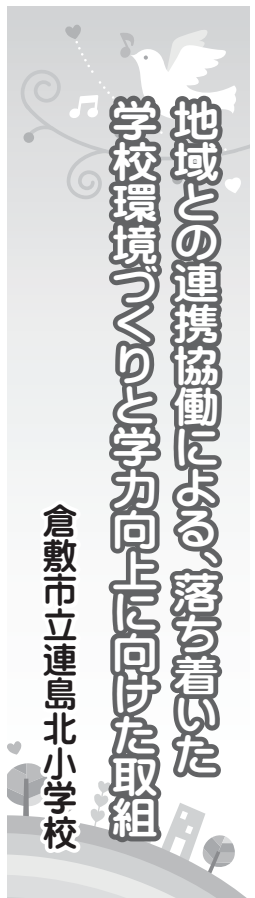


# 広げよう！優良実践の輪！

～平成30年度 優良実践校の取組～

取組 5



## 1 はじめに

本校は、県南部に位置し、児童数128名の小規模校です。児童は明るく素直ですが、小規模校という特性から、個に応じた学習が保障される反面、他者との交流が少なく、集団の中で自ら主体的に取り組むことは苦手でした。

そこで、地域と連携協働し、落ち着いた学校環境づくりと学力向上に向けた取組を進めています。

## 2 具体的な取組

### (1) 教育課程の工夫

他者と関わる機会を多く設け、コミュニケーション能力や社会性を伸ばしたいと考え、外部講師による合唱指導・水泳指導・出前講座等、また、地域の教育



全校での稲刈り

資源を活用した保育園との交流学习、田植えや稲刈り等の体験活動を取り入れた授業を、教育課程に意図的・計画的に位置付けています。

### (2) 「連北応援隊」の設立

本校は、平成29年度から「連

北応援隊」(地域学校協働本部)を立ち上げ、地域との連携協働を進めています。登下校の見守り、読み聞かせ、学習支援花の植え替えやペンキ塗り等の環境整備、放課後子ども教室の活動支援等、様々な場面で学校支援ボランティアの方々を支えていただいています。

### (3) 校内研修の充実

「教職員は学びのモデル」を目指し、大学や教育委員会、NPO法人、スクールカウンセラー等外部講師を招いての校内研修、先進校視察、OJT研修等、校内研修を積み重ねています。

### (4) 学力向上に向けた取組

全教職員がベクトルを揃え、朝15分間のスキルタイム(音読・計算・漢字)の導入、「家庭学習の手引き」の見直し、「岡山型学習指導のスタンダード」の授業5(ファイブ)に沿った授業、一人に一台使えるタブレットPC等を活用した授業、学習支援ソフトを活用した放課後

学習サポート等にも取り組んでいます。



スキルタイムの様子

## 3 おわりに

本校は、こうした取組により、学校環境が整備され、学習や行事等に主体的に取り組む児童が増えてきました。今後も今まで以上に児童、教職員、保護者、地域の方々の笑顔が増え、学校、家庭、地域がますます活性化するように、合言葉の「笑顔がいっぱいの連北」への歩みをさらに進めていきたいと思えます。

(校長 中田 和子)